

令和三年十二月一日 発行

躍動みやざき



PlayersCenterd !

私たち

「安全で、正しく、楽しいスポーツ活動」
をサポートします

公益財団法人 宮崎県スポーツ協会

宮崎県スポーツ指導者協議会





〔題字〕会長 廣田 彰



巻頭言

2021年 夏の Legacy を生かそう！

宮崎県スポーツ指導者協議会
会長 廣田 彰

2021年の暑い夏が終わりました。そして、感動と歓喜のスポーツの祭典も終わりました。

2020年の当初からわが国で蔓延し始めた新型コロナウイルスへの感染はその後も猛威を振るい収束することなく、すべてのスポーツイベントが中止あるいは延期に追い込まれました。そして、2021年になっても感染者の減少と増加を繰り返していましたが、そんな状況の中、夏の全国高校総合体育大会・北信越大会、高校野球甲子園大会の開催が決定しました。

開催に関しては賛否両論ありましたが、昨年開催されず涙をのんだ三年生の悔しい思いをもう二度と繰り返さないとの思いが感染予防対策を徹底しての開催に踏み切らせました。高校総体では本県選手の皆さんは各競技において十分な実力を発揮し素晴らしい成績を収めてくれました。しかしながら念願の甲子園出場を果たした宮崎商業高校野球部は現地で部員のコロナ感染が確認され、試合を辞退する結果となってしまいました。部員や関係者の悔しい気持ちを考えると残念で仕方ありませんが、改めてコロナ予防対策の大切さと難しさを実感しました。

そして、時を同じくして、世界206ヶ国から、約11000人の選手を迎えてスポーツの夢の祭典東京オリンピックが開催されました。コロナ禍の大会のため「バブル方式」等の採用によって選手・役員関係者と外部を極力遮断する感染予防対策を徹底し、すべての競技が無観客で実施されることになりました。何か別世界で実施しているようなスポーツの祭典を我々はTVでのみ観戦できるという異常な状態でした。しかし、参加した日本選手団の活躍は素晴らしく、我々をTVの前に釘付けにする毎日でした。コロナ禍の中、大会を迎えた選手の皆さんは、その準備のために大変な苦労と努力をされたと思いますが、水泳女子個人メドレー200m・400mの大橋悠依選手はTVのドキュメンタリーの中でコロナ禍の状況では「できないことを考えても仕方ない、今出来ることを全力でやるしかない」と決心し実行してきた」と話していました。この強い信念が2個の金メダル獲得につながったと思います。またある選手が、この状況での競技は「resilienceの精神（折れない心）の闘い」だと表現していた言葉が特に印象に残りました。

そして、2週間後世界168ヶ国から、約4400人の選手を迎えての東京パラリンピック・「もうひとつのおリンピック」が始まりました。これも無観客での開催でしたが、我々はオリンピック以上に驚きと感動にひたり、そして涙しました。ボッチャ、ブラインドサッカー、シッティングバレーなど初めて見る競技、また障がいを乗り越えて挑戦する選手の姿は我々に大きな感動を与えてくれました。最終日のマラソンで金メダルに輝いた視覚障がいの道下美里選手がメダルを自分よりも先に伴走ガイドの方の首にかけようとした姿を見たときに、これこそがこのパラリンピックの真の意義を表現しているように思いました。障がいのある人とない人が共に支え合い困難に向かって挑戦する姿こそがこれから社会にそしてスポーツに特に必要な「共生」だと考えました。

2021年 夏のスポーツの祭典は我々の心に多くのLegacyを残しました。これらをこれからの本県のスポーツの普及発展のために、そして来たる2027「日本のひむか宮崎 国スポ・障スポ」の成功のためにぜひ生かしていきたいものです。

令和2年度公認スポーツコーチ養成講習会を受講して

氏名：川野 雅史

所属：宮崎県ハンドボール協会（高校教諭）

資格：ハンドボールコーチ1

1 私の指導方法について

私は現在、高校男子のハンドボール部を指導しています。年々部員数は減少しており、少ない人数でできるメニューを考え指導を行っています。また、経験者、初心者の両方が在籍しており、基礎から応用まで幅の広い内容を実施しています。同じメニューの繰り返しにならないよう、OF、DF、速攻のメニューを視点や場面を変化させながら、前向きにトレーニングできるように考慮しています。その他にウエイトトレーニングの日や、走力を鍛える日を設けることで基礎体力・筋力も磨くようにしています。トレーニング以外にもミーティングを実施し、目標の設定、練習試合やゲームの反省、食事や生活習慣に関する学びの場を設定しています。

これまで前任校から数えると12年ハンドボール競技の指導を行ってきましたが、指導方法については、中学、高校とハンドボールを選手として学んできた経験と、指導者となって参加してきた講習会や資料、映像などを参考に技術指導をしています。

その年の生徒の技術や経験、設定目標を考慮した練習を実施していますが、そのため、結果の出る学年とそうでない学年がある等、波があるように感じています。

常に結果を出す指導者の方々は経験者の多い少ない、上手、下手に関わらず、安定した競技力を身につけさせているように感じています。

今回の講習会では、トレーニングの内容や技術の部分だけでなく、生徒とのコミュニケーションを通して、生徒の能力の引き出し方を中心に学ぶことを意識して参加させていただきました。意図をはっきりと伝えること、伝えたことが徹底されるまで練習を繰り返すこと、選手の考え方や意見を伝えさせること等、私の指導ではありません実施しない取り組みも多かったため、すぐに取り入れてみようと思いました。

国内、県内トップレベルの指導者の方々のように私なりの一貫した指導の方法を見つけて、ハンドボール競技を通じて技術面だけでなく、人としてたくましい選手の育成を図っていきたいと思います。そのために、今後も講習会等に参加することで自己研鑽を行っていきたいです。



2 講習会に参加して

今回の講習会では大阪体育大学の楠本先生のトレーニング方法を見学させていただきました。練習内容は生徒が練習の中で主体的に考える機会を多く取り入れていました。そのために必要な説明を丁寧に行い、その後徹底して反復するという流れがありました。

選手が意図を持って、パスやポジションチェンジをすることに力点が置かれていて、選手の主体性が非常に試される練習が多くなったように感じます。それまでにどれだけ基礎を練習できるか、ハンドボールというものを理解させられるかが難しいとも感じました。

練習中、楠本先生は選手とのコミュニケーションを取りながら、困っているポイントをつかんで、練習内容に反映させるという作業を細かく行っていらっしゃいました。練習開始直後は受け身だった選手がだんだんと話をするようになり、周りにアドバイスを出す選手が増えていく様子も見られました。このような取り組み方は楠本先生の経験の中から出てくるものだと思いましたが、私も積極的に実践していきたいと思いました。

様々なレベルの選手の目線でプレーを見たり、練習させたりする実践を学ぶことができた1日でした。

また、次の会ではNTSのトレーニング内容はベーシック7等の体の使い方の基礎基本から、OF、DFの考え方やそれを実践するためのトレーニングが実施されました。特にボールをもらう前の動きや位置取りは小柄な選手の多いチームにとって非常に重要な内容だったと感じました。本校の練習内容にも早速取り入れていきたいと思います。

テーピング講習会では、理学療法士の方に、基礎的なテーピングの考え方を伺うことができました。

このような機会はこれまであまりなく、非常に勉強になり、巻く強弱や手の運びなど、テキストでは知ることのできない内容でした。

審判に関する講習では、ルールに精通した指導の重要性や、今後宮崎県が受ける大きな大会での審判やTDMOの役割について学ぶことができました。

非常に濃い内容を幅広く学ぶことができ、良い経験をさせていただきました。この経験を選手達に還元していきたいと思います。



氏名：柴田 圭

所属：宮崎県ハンドボール協会（外部指導者）

資格：ハンドボールコーチ1

1 私の指導方法について

私のハンドボールの指導方法については、これまでの指導経験に基づく独自の方法もあれば、今回のような講習会で得た知識を活用したもの、また、他の指導者からアドバイスをいただき取り入れたものなどを駆使し、そのカテゴリーに最も適した指導方法を総合的に勘案し、指導するよう心掛けています。

私は外部指導者という立場で指導をしていますので、これまでの指導経験が、スポーツ少年団7年・中学校部活動3年・高校部活動3年と、教員指導者や他の指導者ではほとんどないであろう経歴をもっており、この経験を強みとして、現在の高校部活動の指導に携わっているところです。

特に本校においては、部員のほとんどが高校からの競技開始者が多く、1年生時は、ハンドボールの基礎基本を中心にしながらも、生徒達が退屈しないような、楽しさを取り込んだメニュー作成や、「ハンドボール」という競技を選択し入部してくれた部員に、ハンドボールの魅力を感じてくれるようなメニュー作りを考えて、競技力向上に繋がるような内容で指導しています。

また、指導にあたってまず初めに行っているのは、目標設定と目指すチーム像設定を行ってから、チーム作りに入るようになっています。

目標設定と言っても、「高校総体ベスト4」など漠然としたものではなく、短期・中期・長期のチーム目標と個人目標を設定させます。その中でチーム目標においては、短期目標で、指標以上の成果が得られていれば、中期目標の修正を行い、より高い長期目標につなげる。成果が得られなければ、フォローアップを行い指標達成までの期間延長をし、達成への近道を探る作業を行い、長期目標達成につなげるなど、明確な目標を掲げ、日々の練習の中でも、プレーの精度を高めていけるような意識づくりが出来るよう心掛けています。

個人目標としては、「シュートがうまくなりたい。バスがさばけるようになりたい」などそれです。ただし、これも漠然としたものとなりますので、雨の日や週末の練習後を利用し、日本リーグや世界選手権、オリンピックなどトップ選手の映像を見る機会を設けるようにしています。その中で「憧れの選手」が必ず出てきます。高度な技術で同じプレーが出来るようになるかは別として、やってみようとか試してみようとか「求める意識」が高揚してきます。生徒達が、自ら意欲的に練習に取り組んでくれることこそが、上達の近道だと私は思っています。

2年生時・3年生になれば、しっかりとした基礎基本の中で、出来ることも多くなりプレーの幅も広がってきますので、よりハンドボール

を楽しむことが出来るようになります、練習に対する意欲が湧いてきます。

放課後講座や土曜講座などがあり、限られた短い練習時間ですので、効率的なメニュー設定と時間設定をし、あまり多くのことを詰め込まないようにし「スタンダードなハンドボール」を目指して、指導に取り組んでいるところです。

最近では、この活動が実になったのかは分かりませんが上級生が楽しそうに部活をしている姿を見て、入部希望者も増えてきました。ハンドボールに携わる者の一人としてこれ以上にうれしいことはありません。

最後になりますが、本校ではハンドボールで進学する生徒は殆どいませんが、高校3年間での部活動生活がより充実し、心が満たされることで、学業への取り組みにも向上心をもてるよう、生徒の気持ちに寄り添った指導ができるよう、今後も精進していきたいと思います。

2 講習会に参加して

大阪体育大学女子ハンドボール部監督楠本先生をお迎えしての講習会であり、2027宮崎国体をターゲットとした女子選手の強化を兼ねた内容でした。

まずは、パスワークの練習から始まりましたが、早いパス回しの中でも、必ず前を狙う姿勢でパスをすることや、シュートにもいける、そこからバスもさばけるなど、基本中の基本でありながらも、疎かにしてはいけないことを改めて認識させられる内容でした。また、「強いチームはミスをしない（少ない）」との先生の言葉を聞き、まさにその通りだなと感銘をうけたところでした。

次に、距離を変えながらのランパスなど、このメニューも基本的なことではあるけれども、やはり完璧に出来る参加者も少なく、日常でのトレーニングの大変さを痛感したところでした。その後は、オフェンス側の数的有利な状況からの2対2を左右で行いました。サイドユーロをきっかけにポストとの連携により、攻めるポイントを変えていくといった内容でした。ポストの位置取りを素早く把握し、フェイントやパスを織り交ぜて、2対1の状況を作り出すといったところにポイントを置いたものでした。

その他にも、多くの練習メニューを取り入れた内容でしたが、どれも実践で必ず出てくる場面だと思い見ていました。私も、同じような内容の練習メニューには取り組んでいましたので、その基本的な部分の重要さを改めて確認することができ、非常に有効な講習内容であったと感じました。



氏名：田口 耕司

資格：軟式野球コーチ1

すべてのスポーツにおける「指導者として必要な役割」を受講日初日に学ぶことができたため、残りの講義もまじめに受講することができました。

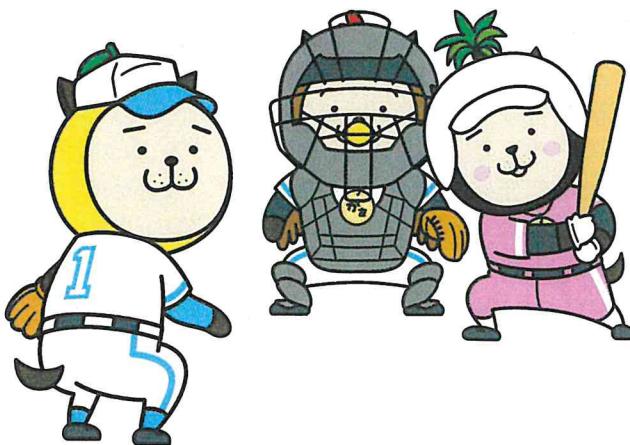
まず、はじめてスポーツをするものに、スポーツの魅力・価値・文化を伝え、またその者のやる気・自律性・思いやりの心をもつ人間に育てることが大事だと気づかされました。常に、プレイヤーズファーストを最優先し、向上心への欲求に手助けを行い、未来に責任を負っているという自覚が必要だと感じました。倫理に反する行為や行動は、スポーツそのもののイメージを損なわない、個人に対して身体面、行動面、社会生活面に悪い影響を与えるかねないと、肝に銘じました。

ティーチングよりもコーチングを用い、質問などで相手の発言を促し、その者の考えを引き出すことにより長所を見いだし、ほめる指導に努めていこうと思いました。

学童野球の指導では、積極的に話しかけてくる子どもも多いですが、中には話すことが苦手な子どももあり、こちらからその子どもの表情を読み取り、話しかけてコミュニケーションを取るようにしています。また、保護者とも積極的に話す機会を設け、家庭環境や食生活、学校での生活態度や学力等を聞き、より一層子どもたちを理解するように努めています。講義の内容で、笑顔やあいさつでコミュニケーション能力を高める方法があることを知ったので、実践したいと思いました。

発育時の故障、野球肩、野球肘などのスポーツ障害や精神面のストレスによる心の病気などにも常に目を配り、いち早く見つけられるようにしたいと思います。

今後、ウォーミングアップにストレッチや体幹トレーニングを取り入れ、柔軟性や筋力を高め、故障を防ぐ身体つくりに努めます。また、ルールなども学び続け、子ども達に野球の素晴らしさや楽しさを伝え、足下を照らす光になりたいです。



氏名：渡邊 雅一

資格：軟式野球コーチ1

私が、養成講習会を受講しようとしたきっかけは、少年野球の指導者として関わっていた時期に、スポーツ少年団認定員の資格を取得しており、今回、日本スポーツ協会において資格の制度が変わると聞いたため、それなら、この資格を活かし、今も関わりの深い、野球の「コーチ1」の資格を取得しようと考えました。

私には、子どもが2人いて、長男は昨年高校を卒業するまで小中高と野球を続け、次男は小学1年生から9年間続け、今は高校野球の道へと目標をもって進んでいます。

私も幼い頃から野球をしてきましたが、現在は社会人として再び草野球を始め、もうすぐ30年近く迎えようとしています。私が大好きな野球を子どもが始めたおかげで、少年野球の監督やコーチに関わらせてもらうことになりました。

一番難しいと感じたことは、子どもへの野球の教え方でした。自分が教わってきた指導を思い出したり、草野球を通して学んだ知識を活かし、これから野球を始めようとする子どもへ、野球が上手になることは当然ながら、仲間の大切さや礼儀を学んで欲しいこと、野球を好きになってほしいという気持ちをどのように伝えるか日々悩む毎日でした。

今回の講習会を受講し、野球というスポーツを通して、指導者の基本的な立ち位置を見直させていただきました。プレイヤーズファースト・センタードのフレーズが一番印象深く残っています。コミュニケーションの取り方や体のケアのこと、選手への指導方法のあり方等非常に中身の濃いコーチングの基礎を指導していただきました。

今後、この習得した考え方や知識を周りへも共有できるよう、野球やスポーツに関わっていきたいと思います。



公認スポーツ指導者の有効期限について

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の有効期限は、資格登録後4年間であり、資格を更新するためには、資格有効期限の6ヶ月前までに、日本スポーツ協会あるいは当該中央競技団体等の定める研修会を最低1回受けることが必要です。(4年間に最低1度受講)

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、対象者・希望者のすべてを受け入れるだけの更新研修が開催されておらず、受講が難しい状況となっています。この状況を踏まえて、本来であれば2022年3月31日までに更新研修の受講が必要となる、2022年10月1日付更新登録・再登録に関しても以下のとおりの取り扱いといたします。

対象者

・資格有効期限:2022年9月30日・資格の種類:以下を除くすべての資格・競技

[水泳、サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、エアロビック（コーチ4のみ）、チアリーディング（コーチ3のみ）、スクーバ・ダイビング、プロテニス、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネージャー]

対応

上記の対象者については、所定の更新研修の受講状況に関わらず、2022年10月1日付の登録手続きの対象とします。本来必要な所定の研修を修了できずに登録される方は、「資格取得後も学び続ける」という更新研修の目的に鑑み、今後、研修会が受講可能になり次第、積極的に研修を受講していただくことをお願いします。(推奨であり、義務ではありません。)

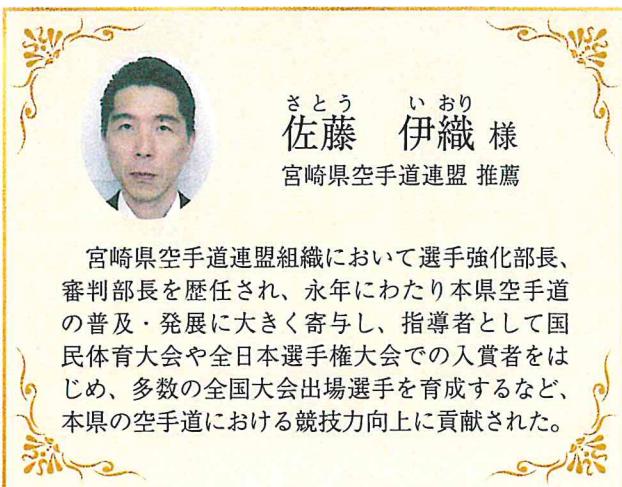
スケジュール

有効期限		研修受講期限	更新登録手続き期間
2022年	3月31日の方	2021年9月30日	2022年1月下旬～3月31日
	9月30日の方	2022年3月31日	2022年7月下旬～9月30日
2023年	3月31日の方	2022年9月30日	2023年1月下旬～3月31日
	9月30日の方	2023年3月31日	2023年7月下旬～9月30日
2024年	3月31日の方	2023年9月30日	2024年1月下旬～3月31日
	9月30日の方	2024年3月31日	2024年7月下旬～9月30日

特例

令和3年度公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰受賞者

令和3年度は、下記の2名の指導者の皆様が受賞されました。受賞おめでとうございます。永年にわたり、本県スポーツの振興に貢献していただき、心より感謝申し上げます。



(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の分類と役割

スポーツ指導者基礎資格

令和3年4月現在

資 格	役 割	認定後に備えられる知識	カリキュラム
スポーツリーダー 18歳以上	・地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる	・スポーツに関する基礎的知識 ・ボランティアに関する基礎的知識	共通I:35h <u>新規養成中止</u> ・令和元年度までに開催実績がある団体は令和4年度までは養成可能
コーチングアシスタント 18歳以上	・地域におけるスポーツグループやサークル等において、上位資格者を補佐する者として、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる	・スポーツに関する基礎的知識 ・ボランティアに関する基礎的知識	共通I:45h <u>2020年度に創設</u>

競技別指導者資格

資 格	役 割	習得され、発揮される能力	カリキュラム
スタートコーチ 18歳以上	・地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、学校運動部活動等において、必要最小限度の知識技能に基づき、当該競技の上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供する	・スポーツの意義と価値の理解 ・スポーツインテグリティの理解 ・論理的な指導、コミュニケーションの理解（暴力行為根絶に向けた取組の理解） ・プレーヤーの安全管理 ・当該競技の魅力を知る	共通科目スタート:15h 専門科目:4h以上 <u>2019年度に創設</u>
コーチ1 18歳以上 (旧指導員)	・地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、学校運動部活動等でのコーチングスタッフ ・基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供する	・スタートコーチ共通で得られるコンピテンス ・論理的な指導・コミュニケーション ・指導対象者との信頼関係構築 ・スポーツを通じたライフデザインに係る基礎的理解 ・競技特性、技術構造等当該競技への基礎的理解 ・日々の活動（練習・試合）を実施するための指導力	共通科目I:45h 専門科目:20h以上
コーチ2 20歳以上 (旧上級指導員)	・地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、学校運動部活動等の監督・ヘッドコーチ ・責任者として安全で効果的な活動を提供し、指導計画を構築・実行・評価し監督する ・コーチ間の関わり・成長を支援する	・共通科目Iで得られるコンピテンス ・所属先・保護者・他のコーチとの信頼関係構築 ・指導対象者のスポーツを通じたライフデザインを念頭においた指導力	共通科目II:135h 専門科目:40h以上
コーチ3 20歳以上 (旧コーチ)	・ブロック～全国大会レベルのプレーヤー・チームに対して競技力向上を目的としたコーチングを行う ・トップリーグ、実業団のコーチングスタッフ	・共通科目IIまでで得られるコンピテンス ・スタッフとの信頼関係構築・指導対象者自身が自らスポーツを通じてライフデザインできるよう促す指導力	共通科目III:150h 専門科目:60h以上
コーチ4 22歳以上 (旧上級コーチ)	・国際大会レベルのプレーヤー・チームに対して競技力向上を目的としたコーチングを行う ・トップリーグ、実業団のコーチングスタッフ ・ナショナルチームのコーチングスタッフ	クラブ/チームの経営資源の有効活用 ・海外での活動・国際大会等への準備と管理 ・指導対象者へのスポーツ・インテグリティ教育 ・一般社会・メディアとの関係構築 ・スポーツを通じてライフデザインできるコーチを育成・指導	共通科目IV:151h 専門科目:80h以上
教師 20歳以上	・商業・民間スポーツ施設等で幅広い年齢層の多様なスポーツライフスタイルを志向する会員や利用者に応じたコーチングスタッフ ・クラブや商業・民間スポーツ施設の日常運営業務にあたる	・共通科目IIまでで得られるコンピテンス ・スタッフとの信頼関係構築 ・指導対象者自身が自らスポーツを通じてライフデザインできるよう促す指導力	共通科目III:150h 専門科目:60h以上
上級教師 22歳以上	・商業・民間スポーツ施設等における実技指導の責任者・チーフ ・クラブや商業・民間スポーツ施設の企画・経営業務にあたる	クラブ/チームの経営資源の有効活用 ・多様な現場・環境（指導対象者等）への準備と管理 ・指導対象者へのスポーツ・インテグリティ教育 ・一般社会・メディアとの関係構築 ・スポーツを通じてライフデザインできるコーチを育成・指導	共通科目IV:151h 専門科目:80h以上

メディカル・コンディショニング資格

資 格	役 割	認定後に備えられる知識	カリキュラム
スポーツドクター	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツマンの健康管理、スポーツ障害、スポーツ外傷の診断、治療、予防研究にあたる ・競技会等における医事運営ならびにチームドクターとしてのサポートにあたる ・スポーツ医学の研究、教育、普及活動等をとおして、スポーツ活動を医学的な立場からサポートする 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ医・科学に関する専門的知識 ・ドーピング防止に関する専門的知識 ・運動处方に関する専門的知識 	基礎:25単位 (25h) 応用:27単位 (27h)
スポーツデンティスト	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師の立場からスポーツマンの健康管理、歯科口腔領域のスポーツ障害、スポーツ外傷の診断、治療、予防、研究等にあたる 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関する基礎的知識 ・スポーツに関する歯科の専門的知識 ・スポーツにおけるマウスガードに関する知識と作成方法 	医科共通:25単位 (25h) スポーツ歯科医学: 21単位 (23h)
アスレティック トレーナー 20歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツドクター及びコーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・傷害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニングコンディショニング等にあたる 	<ul style="list-style-type: none"> ・機能解剖・運動学的な知識 ・スポーツ外傷の救急処置に関する知識と技能 ・スポーツ傷害の予防対策に関する知識と技能 ・競技者のスポーツ現場復帰への援助に関する知識と技能 ・競技者のコンディショニングに関する知識と技能 	共通科目Ⅲ:150h 専門科目 :600h
スポーツ栄養士 22歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動現場において、競技者の栄養・食事に関する専門的なサポートにあたる ・競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高める栄養教育を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ医・科学に関する専門的知識 ・スポーツ栄養に関する専門的知識 ・他の専門職と連携する能力 ・競技者に対する栄養教育/栄養指導を実践する能力 ・競技者の栄養管理マネジメント能力 	共通科目Ⅲ:150h 専門科目:116.5h

フィットネス資格

資 格	役 割	認定後に備えられる知識	カリキュラム
フィットネストレーナー 20歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・民間スポーツ施設において、スポーツ活動を行うものに対する相談及び指導助言を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィットネスの維持・向上のための指導能力 ・フィットネスの維持・向上に関するプログラムを企画する能力 ・スポーツ相談に関する能力 ・体力測定に関する能力 	新規養成中止
スポーツプログラマー 20歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・主として青年期以降のすべての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィットネスの維持・向上のための指導能力 ・フィットネスの維持・向上に関するプログラムを企画する能力 ・スポーツ相談に関する能力 ・体力測定に関する能力 	共通科目Ⅱ:135h 専門科目 : 63h
ジュニアスポーツ指導員 20歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びをとおした身体づくり、動きづくりの指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼・少年期における活動プログラムに関する知識 ・発育・発達過程の心と身体の特徴を踏まえた指法 	共通科目 I:45h 専門科目 :23h

マネージメント指導者資格

資 格	役 割	認定後に備えられる知識	カリキュラム
アシスタント マネージャー 18歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員が充実したクラブライフを送ることができるよう、組織経営のための諸活動をサポートする 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関する基礎的知識 ・総合型地域スポーツクラブなどのマネジメントに関する基礎的知識を有し、協働できる能力 	共通科目 I:45h 専門科目 :35h
クラブマネージャー 20歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なクラブ経営を行う ・総合型地域スポーツクラブなどの活動が円滑に行われるために必要な競技別指導者などのスタッフがそれぞれの役割に専念できるような環境を整備する 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関する基礎的知識 ・総合型地域スポーツクラブ創設のためのマネジメント能力 ・総合型地域スポーツクラブなどの健全な経営のためのマネジメント能力 ・事業の計画立案能力、各種資源の調達活用能力、情報収集・分析能力 	専門科目:167.5h

**令和3年度
宮崎県スポーツ指導者協議会組織**



役職	氏名	所属名等
会長	廣田 彰	宮崎大学名誉教授
副会長	串間 敦郎	県立看護大学
副会長	井上 聖子	県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
理事	西田 和孝	県柔道連盟
〃	那須 司	県ボート協会
〃	黒木テル子	県エアロビクス連盟
〃	長友 辰雄	県レスリング協会
〃	永田 嶽	県フェンシング協会
〃	原田 佳司	県アーチェリー協会
〃	今村 直也	県スポーツ指導センター
〃	山田 一	県スポーツ推進委員協議会
〃	小玉 弘明	県スポーツ少年団
〃	木下 理	県障がい者スポーツ協会
〃	西田 英司	県教育庁スポーツ振興課
〃	田中 真二	県高等学校体育連盟
〃	島田 亮介	県中学校体育連盟
〃	小玉 忠宏	学識経験者（地区代表）
〃	日高 憲幸	学識経験者（地区代表）

指導者協議会の活動内容

我々、本県指導者の活動を、より発展し充実させていくためには、皆様の御理解と御協力が欠かせません。

宮崎県スポーツ指導者協議会は、上記の各地域及び競技団体から推薦された公認スポーツ指導員の資格を有した方々が理事として構成されています。

主に県内指導者の資質向上や指導者の連携、更には組織拡充、その活用などが望ましい姿になるよう、3つの推進部会を設置し、活動をしております。

協議会の普及・発展のためには、各地域の組織の充実が不可欠であります。現在では、都城・北諸地区が組織として設立され9年目になり、他地区でも地区別協議会設立に向けて取組を進めています。

◇研修会及び地区活動推進部会(5名)

〔主な業務内容〕

- ・宮崎県スポーツ指導者研修会運営
- ・地区活動の活性化についての検討

〔今年度の活動〕

令和4年2月5日(土)のスポーツ指導者研修会の準備と運営を行います。本研修会は、日本スポーツ協会公認スポーツ指導員の資格更新のための義務研修のひとつであります。

また、少年団の指導者や各学校の部活動指導者の方々なら、どなたでも参加できます。今後も各地区活動が活発になるように、協議してまいります。

◇スポーツ指導者活用推進部会(8名)

〔主な業務内容〕

- ・公認スポーツ指導員(有資格者)の有効な活用方法についての検討

〔今年度の活動〕

公認スポーツ指導者の活用について、日本スポーツ協会と連携して検討を重ねていきます。また、学校部活動にも活用できるような体制作りを行います。

◇機関誌編集推進部会(4名)

〔主な業務内容〕

- ・本誌「躍動みやざき」の編集、発送

〔今年度の活動〕

第10号の機関誌の内容を協議し、今回発行することができました。今後もより良いものを作成していきます。皆様からのアイデア等があれば、お近くの本協議会理事若しくは、発行元の連絡先までご連絡ください。

会費（年会費1,000円）納入のお願い

本協議会は日本スポーツ協会公認スポーツ指導者からの会費で運営を行っています。会費は次の事業に充てられています。

- 宮崎県スポーツ指導者研修会（2月開催）
- 県内地区スポーツ指導者研修会
- 広報機関誌「躍動みやざき」（年1回発行）

その他、指導者の育成・活用、資質向上等についての協議を理事会で行い、総会を経て予算を執行させていただいている。御協力をお願いします。

問い合わせ先：公益財団法人宮崎県スポーツ協会

編集後記

本年度も「躍動みやざき」第10号を発行することができました。誌面をもちまして、御協力をいただいた皆様方へお礼を申し上げます。

東京オリンピック・パラリンピックがこの夏に開催され、テレビ等で応援された方も多かったことと思います。多くの感動を与えていただいたと共にスポーツのことを考えるきっかけになったのではないでしょうか。スポーツは「する」「みる」「ささえる」とよく言われます。すべての人がこの3つを行えることが理想なのかもしれません。

新型コロナウイルス感染症の拡大で、定期的に練習や大会を実施できることが「当たり前」ではないと気付かされた私たち。今後どのようなスポーツ環境を構築していくことが望ましいかをみんなで議論していく必要があると痛感いたしました。

学校部活動の問題が指摘されてから長い年月が経ち、ようやく令和5年度から段階的に動きだすことになりました。これまで教員の献身的な勤務の下で成り立ってきた部活動を地域で支えましょうという提案だと思われます。文部科学省の示す主な方向性は「休日に教員が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築する。部活動の指導を希望する教員は、引き続き休日に指導を行うことができる仕組みを構築する。生徒の活動機会を確保するため、休日における地域のスポーツ文化活動を実施できる環境を整備する。」となっており、スポーツ指導者の公認資格をお持ちの皆様に対しての期待は高まるばかりです。どうか今後も積極的にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本県は今後、2巡目国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けて本格的に動き始めます。本協議会といたしましても、スポーツ指導の現場を支える組織として、指導者の育成、関係団体等との連携を視野に宮崎県のスポーツ環境がよりよいものになっていくよう努力してまいりたいと考えています。

今後とも御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年度宮崎県スポーツ指導者協議会 機関誌編集推進部会

井上 聖子 理事 黒木テル子 理事 那須 司 理事 原田 佳司 理事



発行元 公益財団法人宮崎県スポーツ協会 宮崎県スポーツ指導者協議会
 〒889-2151 宮崎市大字熊野1443-12 ひなた宮崎県総合運動公園 受付・案内所2F
 TEL:0985-58-5633 FAX:0985-58-5630
 URL:<http://www.miyazakiken-taikyo.jp>

宮崎県スポーツ協会